

第64回

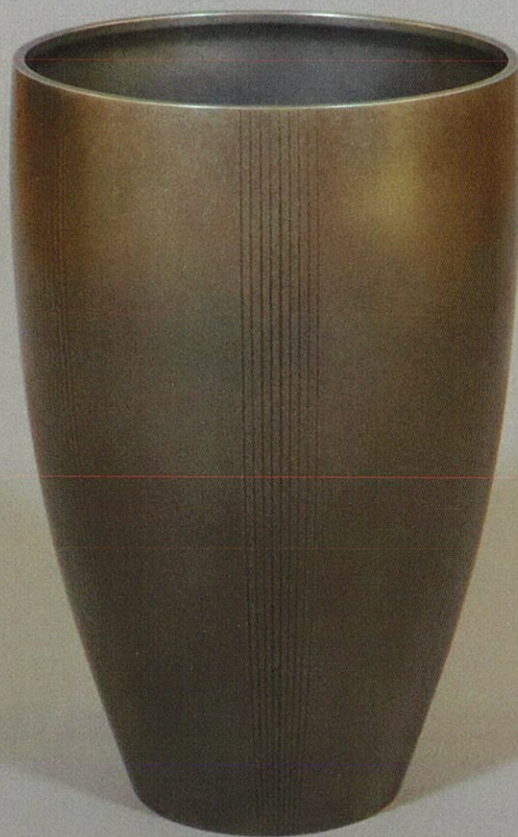
日本伝統工芸富山展

石川支部賛助出品・全国からの賛助出品

金工 漆芸 木竹工 陶芸 染織 人形 諸工芸

令和7年 5月30日(金) ~ 6月8日(日)

午前9時30分~午後5時(入場は4時30分まで) 5月30日(金)は午前10時30分から〈月曜休館〉



日本工芸会賞 砂張花入 般若 雄治 作



高岡市美術館

観覧料 一般800円(640円)／シニア640円／大学生500円(400円)／高校生以下 無料

○()内 団体料金 20名以上

○シニアは65歳以上

○身体障がい者・精神障がい者保健福祉・療育の各手帳所持者及び付添いの方(1名)は半額です。手帳をお持ちください。

(公財)高岡市民文化振興事業団

主催 高岡市美術館／(公社)日本工芸会富山支部／(公社)日本工芸会／北日本新聞社

後援 文化庁／富山県／富山県教育委員会／高岡市／高岡市教育委員会

NHK 富山放送局／北日本放送／富山テレビ放送／チューリップテレビ

富山エフエム放送／とやまソフトセンター／富山シティエフエム

高岡市美術館 〒933-0056 富山県高岡市中川1-1-30 TEL 0766-20-1177

URL <https://www.e-tam.info>

趣 旨

伝統工芸は単に古いものを模倣し、従来の技法を墨守することではありません。受け継いだ優れた技術を一層錬磨すると共に、現代に即した新しいものを築き上げることが、我々に課せられた責務であると信じます。

公益社団法人日本工芸会富山支部は1961年に北陸支部より独立・誕生し、今年で創立64周年を迎えます。

第64回 日本伝統工芸富山展は、金工・漆芸・木竹工・陶芸・染織・人形・諸工芸、計7部門の公募作品・受賞作品に加え、重要無形文化財保持者（人間国宝）を含む全国著名作家の作品を一堂に展示します。

● 石川支部賛助出品・ 全国からの賛助出品

石川支部の賛助出品と、例年通り全国からの賛助出品を展示いたします。ぜひご高覧ください！

● 開会式

5月30日(金) 午前10時～
エントランスホール

● 作者が語る研究会

5月31日(土) 午後3時～5時
地階 ビトークホール
自由参加（一般の方もご参加いただけます）

● 会期中同時開催 (公社)日本工芸会 富山支部会員小品展 地階ミュージアムショップ

— 本展の公募について —

出展は未発表の作品に限ります。詳しくは公募要項をご覧ください。
要項は、高岡市美術館内 日本伝統工芸富山展事務局よりお取り寄せいただくか、下記より富山支部公式 Facebook でもご覧いただくことができます。作品搬入に先立ち、事前の出展申し込みが必要です。



日本工芸会富山支部
公式 Facebook ページ

● 審査員

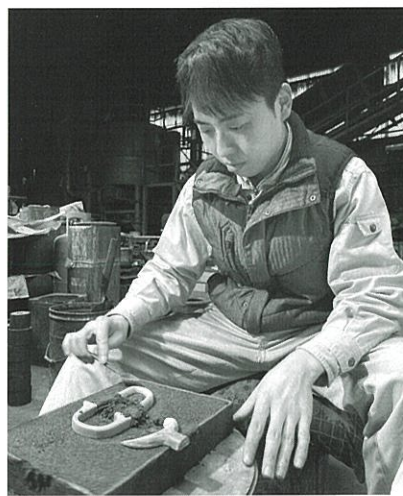
中川 衛	重要無形文化財保持者 [金工]
吉田 幸央	日本工芸会正会員 [陶芸]
福島 則夫	日本工芸会正会員 [木竹工]
村上 隆	高岡市美術館 館長
山下 郁子	日本工芸会正会員 [染織]

順不同 敬称略

● 列品解説 各々 午後2時～3時

5月31日(土)	金 工 (般若 泰樹)
	漆 芸 (小川 太郎)
6月1日(日)	金 工 (般若 保)
	陶 芸 (金田比陶美)
7日(土)	木竹工 (林 哲三)
	諸工芸 (長岡由美子)
8日(日)	漆 芸 (今井 孝雄)
	染 織 (山下 郁子)

～ 工 房 紹 介 ～



「砂張花入」

鑄金は溶けた金属を鑄型に流し込んで様々な形を作ることができる。また、金属の配合や仕上げの方法によっても鑄物が見せる表情は大きく変わる。それぞれの金属の特徴を学び、その魅力を十分に引き出せる作品づくりに挑戦している。

金工部門 般若 雄治 さん

※開館状況など最新の情報は、ご来館前に当館ホームページなどでご確認ください。いただくことをお勧めいたします。



高岡市美術館HP